

令和8年6月12日

関係各位

社会福祉法人 釧路愛育協会

暴行事件に関するお詫びと法人運営改善への取組について（報告）

このたび、当法人が運営する障がい者支援施設「鶴が丘学園」の職員による暴行事件に関しまして、法人および施設の運営改善状況をご報告させていただきます。

当法人では、警察の捜査や行政からの指導に誠実に協力しつつ、支援現場の改善に向けた施策を早急に進めております。

具体的には、法人による内部調査を経て、法人の専門職による「虐待対応チーム」を発足いたしました。現在は毎日、鶴が丘学園の支援現場に介入し、点検および利用者様の支援を実施しております。その中で生じた配慮すべき点や改善が必要な部分については、同施設に対して即座に指導を行い、改善を図っている状況です。

また、法人より鶴が丘学園の管理職等に対し、虐待防止に向けた役割を明確に提示し、ガバナンスの再構築も実施しております。さらに「虐待防止対応規程」の制定にとともに、「虐待防止第三者委員」を設置し、査察・実地監査の実施もあわせて開始いたします。

虐待に関するアセスメントから抽出された「虐待等の通報・相談・報告のしやすい仕組みの構築」におきましては、ICT（情報通信技術）を活用し、周囲に気づかれず相談や通報ができる仕組みを構築し、運用を進めているところです。

法人と施設において、これら様々な取り組みを継続していくことで、組織風土の刷新や福祉専門職としての倫理の定着を図るべく、法人一丸となって推し進めてまいります。

利用者様とご家族の信頼回復はもとより、社会福祉法人としての公共性と公益性を改めて自覚し、役職員一同、適正かつ透明性の高い法人運営に努めてまいります所存でございます。

誠に恐縮ではございますが、今後ともご指導を賜りますようお願い申し上げます。